

議事録要旨

審議会の名称	令和5年度 第2回 豊見城市上下水道事業審議会	
事務局	豊見城市役所 上下水道部 担当：参事監 高良 忍	
開催日時	令和5年7月14日（金）10：00～12：00	
開催場所	豊見城市役所 4階 第3会議室	
出席者氏名 （委員）	同審議会規定第3条第1項 ◇第1号委員（学識経験者） 平敷徹男（琉球大学名誉教授 外） 加藤壮一（日本下水道事業団 教授） ◇第2号委員（利用者代表） 宜保勝美（豊見城市女性会） ◇第3号委員（各種団体・法人関係） 上原直彦（豊見城市商工会 会長） 國吉久美（豊見城市商工会 女性部長） 平良智秀（社会福祉法人おもと会 特別養護老人ホーム すみれ 施設長）	
欠席者氏名 （委員）	◇第3号委員（各種団体・法人関係） 津森義弘（豊見城市自治会長会 とよみ自治会長）	
事務局職員	豊見城市役所上下水道部 大城上下水道部長、高良上下水道部参事監、比嘉総務課長、金城総務班 長、新垣施設課長、平良上下水道工事班長	
会次第	1.開会 2.豊見城市下水道事業使用料について 3.その他 4.閉会	
10:00	司会	1.開会、資料の確認 それでは、定刻になりましたので令和5年度第2回豊見城市上下水道事業審議会を開催いたします。 先日、6/29には、公私ともに大変お忙しい中、那覇浄化センター（みずクリン那覇）の視察研修にもご参加いただきまして、ありがとうございました。ぜひ、研修にて実際に見聞した内容についてのご意見なども多数頂けたらと思いますので、よろしく願いいたします。 では、審議会に入らせていただきますが、始めに、本日使用いたします

		<p>資料を確認させていただきます。資料につきましては、「第2回豊見城市上下水道事業審議会～下水道使用料の水準検討について～」の資料及び本日の会次第、第1回審議会の議事要旨の資料を配布しております。また、当日配布資料として、「県内他市の下水道使用料金改定について」、*全国比較資料として「総務省：令和3年度下水道事業経営指標・下水道使用料の概要」、*類似団体比較資料として「国土交通省-下水道事業経営の地域差の「見える化」について」、「第1回議事要旨」、「経営比較分析表(R3)」、「接続率について・豊見城市の経営努力」、「豊見城市の下水道使用料 これまでの改定の動きについて」です。</p> <p>→配布資料の確認</p> <p>次に報告であります。前回の審議にて、会議は非公開とし、議事録は発言者を特定されない形でホームページにて公開することと決定しております。配布しております第1回目の会議終了後に議事要旨を作成し、市ホームページにて掲載しておりますので、報告といたします。</p> <p>それでは、豊見城市上下水道事業審議会規程第5条第2項に基づき、平敷会長に進行していただきたいと思っております。それでは、平敷会長よろしくお願いたします。</p>
10:05	会長	<p>2. 豊見城市下水道事業使用料について</p> <p>おはようございます。</p> <p>それでは、事務局より資料の説明をお願いいたします。</p>
10:07	事務局	<p>2. 豊見城市下水道事業使用料について</p> <p>*配布資料の説明</p>
10:30	会長	<p>2. 豊見城市下水道事業使用料について</p> <p>事務局の資料説明、ありがとうございました。</p> <p>資料につきましては、決算に伴って作成される経営比較分析表の説明や他自治会との比較など、様々な説明がありましたが、委員の皆様よりご意見やご質問などがありますでしょうか。</p> <p>実績ベースにおいては、過去3年度平均で1.46億円の使用料収入が不足している説明がありました。使用料収入で対応する支出との関係は、理解できますが、一気に全額を使用料収入で賄うとなると、かなりの大幅な値上げとなり、アフターコロナでこれから市民生活を活性化する段階において適切かなども含め、検討していきたいと考えております。昨今の光熱水費の高騰や生活必需品の価格上昇の中、下水道事業の継続的安定的</p>

	<p>に提供することが可能な水準について検討できたらと考えております。どうでしょうか。</p>
<p>質疑応答</p>	<p>Q：段階的な改定についてどのようにするのか。</p> <p>A：今回の段階的なやり方については、先ほど説明した対象期間を4年間としているので、その期間中の範囲で行うことを想定している。</p> <p>毎年のように短期間での改定の場合は、改定幅は小さく繰り返し行い、4年程度の場合は改定幅が大きくなることが考えられる。他市においても定期的に行っているところは、改定幅は比較的小幅である。</p> <p>また、説明資料においては不足額が1.46億円となっているが、詳細はかなりの乱高下であり、賄えない場合も考えられる。</p> <p>他の改定他市（沖縄市の経営戦略）においても、今後継続して検討する旨の内容の記載がある。</p> <p>Q：改定対象期間（R9までの4年間）の動向予測については。</p> <p>A：令和1-3年度との違う点として、減価償却費の動きがある。今後は、施設の老朽化が進み、ますます大きくなる傾向にある。特に豊見城市は急速に都市化が進み、急速な施設整備を行った経緯があるため、一気に老朽化も進む。また、これまで借り入れた返済が増えてくるので、不足額は増加すると見込まれる。今回の水準検討についても、「検討する」など曖昧な記載ではなく、経営改善に向けた具体的な実施方法の記入を行う必要がある。</p> <p>Q：接続率を向上させることで、必要な事業に関する投資も必要か。</p> <p>A：現時点における接続可能人口に対する接続率を示している。接続可能人口の範囲内で接続率を向上させることを目指している。現在、浄化槽設置で賄えている状況もあるうえで、確実に接続する新築などを考えるとかかなり長い期間を要するものとする。</p> <p>Q：現時点での接続可能人口が100%接続率を達成する可能性は？</p> <p>A：目的は排水処理。現時点において、下水道の活用のほか、浄化槽にて目的達成している世帯もある。新たな費用を捻出して、接続率が100%になるのは、現実的に難しいと考えているが、継続的に普及啓発は行っていく。</p> <p>Q：接続に必要な費用負担はどの程度か。</p>

A：平均して約 20 万程度である。市としても補助金制度を活用し、接続を促しているが難しいところがある。また、接続が容易な箇所については、接続も進んでいる印象。下水管への距離がある場合や、工事車両が入りきれず、手作業を要する箇所については接続費用面からしても困難が伴っている状況。

Q：実際の接続施策についての苦勞は。

A：自治会長などが、悪臭のする側溝などについて指摘を行い、何度も何度も足を運び、下水道への接続へ導いた事案などもある。

また、個別勸奨訪問においても毎年度、同じ世帯が対象となることから、その辺も費用対効果の観点からも効率的ではない指摘もある。

Q：今回、様々な費用負担事例が示されているが、やはり使用者側の希望だと低水準を希望すると思われるが、それを採用した場合、4 年後の状況はどうなっているのか。

A：県内他市比較などでも示されている経営指標が最低水準であることから、この 4 年間ではさらに経営状況が悪くなる。

今後、老朽化に伴う費用負担増、国への借金返済に加え、水道事業からの借入もある。水道事業からについては既に 3 億円以上の借入がある。また、今後も継続して水道事業からも貸付を受けられるかという問題もある。水道事業自体、老朽化した管の更新もあり、貸し続けられることも想定できない部分もある。今のままでは成り立たないのはある。そこで、市民負担と経営改善のバランスについてもっと議論する必要がある。一億円程度の増収をするような料金改定が目安。それ以下の費用負担しても経営改善が図られなければ、“焼け石に水”となつては、意味を持たない。しっかり議論を行ってうえて、バランスを図る必要がある。

Q：先日の視察研修で“再生水”の説明があった。その方が経費が掛かる旨の説明を受けた。辞めることも経営改善と理解していいのか。

A：再生水については、使用する箇所への送水なども含め経費が掛かっている。しかしながら、再生水については社会的な意義としての活用方法なので、経営改善とは区別する。

Q：市民負担は必要か。

A：II 市で一番安い。安いことは、とてもいいことだが、経営改善をやることも必要。料金改定せずに 18 年も同じであったことが、このような

状況となっている。先延ばしはさらに大きな負担を強いることが予想される。

Q：国の 3,000 円/20 m³はどのようなものなのか。

A：総務省が H17 年頃、水道料金が 176 円/m³(3,119 円/20 m³)であることを鑑み、国が引き上げ目標と設定した金額。電気や郵便、電話代金などはユニバーサル料金でほぼ統一だが、下水道使用料については約 7 倍の格差が全国である。県内では一番高くてもうるま市の 1,760 円。豊見城市が一番低料金。安くてもこれまではやってこれたが、今後はそうはいかない状況である。

Q：料金体系について、水道料金連動性についてはどうか。

A：昭和 30 年代頃までは実績として存在していた。水道料金の何割を下水道使用料金とする内容だったが、そうした場合、下水道のコストが反映されない。40 年代に無くなった。その後は、原価計算に基づいた料金設定が主流となっている。

Q：水道事業からの借入について、R5 の対応は、5 億超になるのか？

A：予算上、一億円を計上。累積額では 5 億円を超える。いつまで貸与可能はわからない。

Q：4 年後の経営環境が悪化する予測。

A：現状のまま、先延ばしは更なる経営悪化を招く。市内企業の立場からしても、ある一定程度の改定を行う必要がある。

Q：なぜ、いままで改定を行わなかったのか。子育て世代に残せないと考える。

A：行政としても経営努力は行い、必要な改定の検討を行っていく。今後の経営悪化しないよう定期的に見直し等についても必要な措置をおこなう。現時点の社会経済情勢を考慮して小さめの値上げ幅は今後は圧迫する可能性があり、問題の先延ばしは影響が大きくなる。今後のことを考えるとある程度の負担増は必要考える。子育てしている若い世代のためにも早めに不足額解消を行う必要もある。

Q：料金体系について

		A：広く薄く、少しずつ収めるような料金体系を目指す。基本料金の考え方、那覇市等の体系についても参考する。現在の料金体系の考え方を改めて確認することも必要。節水型社会への対応としていきたい。
11:45	会長	はい、皆様ありがとうございました。事務局よりその他をお願いします。
11:50	事務局	<p>はい、ご審議ありがとうございました。</p> <p>今回は、全国及び類似団体や県内他市との経営指標比較を行い、決算ベースで不足額を算定し、いくつかの案を提示しておりますが、説明のとおり、次回以降、今後の収支を整理し、不足額の把握、改定の必要性を改めて確認し、増収目標などを定め、検討していく予定です。よろしくお願いいたします。</p> <p>次第3「その他」につきます。</p> <p>まず一つ目に、今後の日程についてご確認いたします。次回は、8/22（火）10時より3F第1会議室です。第1回目と同じ会議室となります。毎回、会議室の移動があり、困惑させてしまい、ご迷惑おかけして申し訳ありません。場所の間違い等がないようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、今回の審議会につきましては、下水道使用料の水準検討のほか、経営戦略の改定も諮問されております。下水道事業のほか、今回は水準検討を行わない水道事業についても公営企業の経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的に経営戦略の改定を予定しております。</p> <p>そこで、日程の調整ですが、当初予定の日程に2日間程度追加したいと考えております。会議室などの都合もありますので、後日、案内したいと考えておりますが、そのような方向性で進めてよろしいでしょうか。</p> <p>（*委員より追加日程について了承を得る。）</p> <p>ありがとうございます。それでは、9月及び11月ごろに追加日程を調整し、ご案内申し上げます。追加日程については、会長と日数や時期などを調整していき、早めに委員の皆様へご報告できるようにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
11:55	会長	ご審議ありがとうございました。それでは、本日の予定は全て、終了いたしました。以上をもちまして、第2回豊見城市上下水道事業審議会を終了させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。